

公益社団法人広島県就労振興センター

2018年度事業報告

国や地方自治体における障害者雇用の水増し問題、就労継続支援A型支援事業が廃業し、多くの利用者の方が解雇された問題など、障害のある人たちの就労支援における課題が大きくクローズアップされた1年であった。行政機関からは多くの求人が出され、採用された方の中にはジョブマッチングがうまくいっていないケースや求人の業務内容と実際の仕事が違っているなど、課題が感じられるケースもあった。就労継続支援A型事業の問題では、仕事の確保や販路拡大等の支援が急務である言われている。障害者雇用における採用側への支援と本人への就労、定着支援へのニーズが今後ますます高まるのではないかと思われる。障害者就業・生活支援センターや就労支援関係事業所と企業や行政、関係機関が日々の支援や研修等を通じて障害のある人が働くことや就労支援の理解や技術習得の促進、連携につなげていけるような取り組みを当センターにおいても取り組んでいかなければならないと感じた。

就労移行支援や就労継続支援B型においては報酬単価の見直しにより、実績が問われる制度設計になった。そのため、就労継続支援B・A型事業所を対象とした「工賃向上底上げ研修」を広島県より受託し、連続研修を行った。管理会計の基礎から工賃向上に向けた行動計画の立案までの内容で実施し、次年度以降の事業所での取り組みにつながる内容となった。さらに、先進事例の紹介や専門家による個別相談の機会を設定した。障害者雇用に関しては、広島県発達障害者支援センターと共催で「発達障害雇用管理セミナー」を実施した。講義と演習を踏まえた内容で、行政や企業、支援者など幅広い職種から参加があった。

呉安芸地域障害者就業・生活支援センター事業においては企業が採用を急いでいることが多く、面接で当事者の就労意欲や生活習慣の確認のみで採用されたケースが多々あった。実習を実施していないため、業務内容や作業効率が企業・実習者とも採用後に「予想と違っていた」という相談が就業・生活支援センターに寄せられ、採用後に重点的な定着支援、調整が必要となった。日々の支援のほか、会議等の機会において実習を通じた採用の効果などについても伝えていく必要があると感じた。

ふれ愛プラザ事業では、今後の事業の在り方について広島県と広島市による3者協議の他、「ふれ愛プラザ活性化協議会」を開催し、関係機関や企業からの意見を聞く場を設定した。会議においては、事業の方向性や意義を明確にできておらず、共有できていないことが課題であるという意見であった。その他、企業との協働による商品作りや販売に関するアイデアもいただくことができた。引き続き協議やいただいたアイデアを取り入れながら、今後の事業の継続について模索していく。

共同受注窓口においては、企業における人手不足から仕事の発注が増えてきている。施設外就労では、事業所の手続きや体制整備などの事前準備も必要となってくるが、工賃向上や企業や地域の人との交流、事業所で受注できる仕事の範囲を広げていくことにもつながるのではないかと感じた。

すまいるスタジオにおいては利用者の減少から就労移行支援を廃止した。就労継続支援B型事業において、就労希望者については時間をかけて就労準備を行い、就職につながった人もいる。さらにそのようなニーズをもたれた方の利用が下半期に増えている状況がある。そのため、就労希望がある方については引き続き一般就労への支援に取り組んでいく。

広島県から「専門家指導による技術・販売力向上事業（ひろしまS-1サミット）」の委託を受けた他、販売イベントの企画や研修について会員事業所等と共同で実施した。

1 障害のある人の就労等に係る情報提供及び啓発に関する事業

(1) 広報事業

①広報誌の発行（年1回：3月） 各回約5,700部 発行

関係行政、社協、民生委員、関連企業、正会員、賛助会員、諸団体等へ 配布

(2) 情報提供

①ホームページ、facebookの運営

セルフフェア2018、ひろしまS-1サミット2018等販売イベントの開催前にHP等で事業所や商品の紹介を行った。また、会員事業所のイベント出店や研修会等の情報をホームページに掲載し、広報の手段として活用いただいた。SNSを活用することで、事業所の情報をより多くの方にお知らせすることができ、来店、来場のきっかけとなることを感じた。

②企業への情報提供

賛助会員企業へ「働く広場―障害者と雇用」（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構発行）を毎月配布した。

2 障害のある人の就労等に係る研修に関する事業

(1) 研修会

①ビジネスマナースキルアップ実践セミナー

日時 9月22日（土）10時～17時

会場 広島県健康福祉センター

共催 広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会
一般社団法人トータルライフサポートふくやま

講師 森田ひとみ氏（Morita キャリアプランニング）

参加者 35名

内容 ビジネスマンとしての心構え、電話対応、報・連・相で信頼を、敬語の使い方など

②クレーム対応研修

日時 10月6日（土）10時～17時

会場 福山市生涯学習センターローズコム

共催 広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会

協賛 一般社団法人トータルライフサポートふくやま

講師 森田ひとみ氏（Morita キャリアプランニング）

参加者 32名

内容 クレームの種類、クレーム対応の三原則、クレーム対応技術の習得など

③発達障害のある人への適切な対応を行うための雇用管理実践セミナー

日時 2月15日（金）9時50分～16時

会場 広島市東区地域福祉センター 大会議室

講 師 広島県発達障害者支援センタースタッフ

参加者 29名

内 容 発達障害の障害特性や面接技法について講義と演習で習得する
※広島県発達障害者支援センターの研修事業との共催により実施。

④ジョブコーチ・カンファレンス 2018

日 時 5月12日(土) 10時～17時10分

会 場 広島国際会議場大会議室

参加者 300名

内 容 雇用就労に関する最新的话题を中心に、就労移行支援事業や定着支援事業、障害者就
業・生活支援センターのあり方や役割を考える

※ジョブコーチ連絡協議会、社会福祉法人つつじとの共催により実施。

3 障害のある人が福祉施設等で制作した商品の開発、販路の拡大並びに作業の開発、開拓、斡旋に関する事業

(1) 障害者就労支援事業所売上向上対策事業(ふれ愛プラザ)

- ① 総売上 22,969,168円(対前年比 93.9%)、来店者が 13,675人(対前年度比 91.4%)。
- ② 体験教室、イベントの開催

I 夏休み工作教室

期 日 2018年7月26日(木)～27日(金)

製作時間 10分～40分程度

内 容 夏休みの自由工作のひとつにできるような製品の製作体験を実施した

対 象 小学校低学年から

場 所 シャレオ西通りW36区画

参加費 100円～700円(製作品により異なる)

教室日程

期 日	協 力 施 設	製 作 品	参加人数
7月26日(木)	アイラブ作業所	わっかで作る小物	18
	かざぐるま舎	革細工	31
	パンダハウス	色ぬりBOX	14
	ひとは工房	スーツストラップ	43
	すまいるスタジオ	再生紙で作る えんぴつ	25
再生紙で作る うちわ			
7月27日(金)	ワークホーム聖恵	押し花のシール	13
	もみじ作業所	さをり織り体験	8
	もりの輝舎	手づくり貯金箱	34
	あおぎり	つまみ細工(ヘアピン)	6
		つまみ細工(ヘアゴム)	12
トムハウス	ビーズのピンブローチ	11	

参加者数 26日(木) 131名 , 27日(金) 84名 合計参加者 215名

③ 県民・市民に身近な“ふれ愛プラザ”を目指した店舗づくり

I 施設活動、製品についての広報・啓発（店舗、事業所紹介）

ふれ愛プラザ活動、製品紹介におけるチラシ等を作成し、福祉機関・団体の協力のもと、幅広い PR に努めた。また、製品紹介の場を増やすため、外部団体等主催の行事に積極的に参加して広報啓発を推進した。また、商品情報や事業所のイベント情報等をホームページ、facebook の活用し、情報発信に努めた。

II 販売実習

障害のある人の販売実習として接客、レジ等の体験実習を行った。（延べ 123 事業所）

III 外部出展

行 事 名	会 場	実 施 日
ジョブコーチカンファレンス 2018	国際会議場	30. 5. 12(土)
環境の日ひろしま大会	県庁前広場	30. 6. 3(日)
夏の福祉就職総合フェア	県立総合体育館	30. 6. 23(土)
2018 ピースアクション in ヒロシマ 虹のひろば	県立総合体育館	30. 8. 5(日)
2018 マーガレットコンサート	国際会議場	30. 9. 9(日)
第 25 回日本自閉症協会全国大会（広島大会）	アステールプラザ	30. 9. 15(土)・16(日)
広島キッズシティ 2018	タカノ橋商店街	30. 9. 22(土)・23(日)
J A I F A 中国ブロック会議	国際会議場	30. 10. 19(金)
2018 年度広島県社会福祉大会	ガーデンパレス	30. 10. 24(水)
広島市シニア大学祭（委託販売）	広島市総合福祉センター	30. 10. 27(土)・28(日)
ひろしまフードフェスティバル	広島城周辺	30. 10. 27(土)・28(日)
介護の学校 in 広島	トリニティカレッジ	30. 11. 11(日)
介護の日フェスタ in 広島	県立総合体育館	30. 11. 25(日)
ヒューマンフェスタ 2018 ひろしま	広島駅南口地下広場	30. 12. 9(日)
おひなさまマルシェ（委託販売）	三原明真寺・浮城茶屋	31. 2. 23(土)・24(日)
春の福祉の就職総合フェア	産業会館	31. 3. 9(土)
広島八景園祭り	八景園	31. 3. 17(日)
安芸高田市市内販売（ひとは工房委託）	安芸高田市	毎月 1 回

⑤今後の運営に関する協議

I 広島県・広島市・センターの定期的な 3 者協議の開催

日 程	議 題
2018 年 8 月 7 日	ふれ愛プラザ及び広島県就労振興センターにおける課題・問題の整理
2018 年 9 月 18 日	ふれ愛プラザ及び広島県就労振興センターにおける課題・問題の整理
2018 年 10 月 23 日	平成 30 年度ふれ愛プラザ活性化等に関する協議
2019 年 3 月 6 日	平成 30 年度ふれ愛プラザ活性化等に関する協議

(2) 事業所応援プロジェクト（スイーツ編）（協力：一般社団法人広島県洋菓子協会）

ひろしま S-1 サミット 2018 の事業として企画、実施。

実施事業所（商品名）：あかつき（じゃこねぎラスク）、つくしんぼ作業所（いろどりもみじ）※ひろしま S-1 サミットにおいてスイーツ部門優秀賞受賞

(3) 常設店・フェア・イベント事業支援

①常設展示

ひろしま夢ぷらざ（広島市中区）、広島プリンスホテル（広島市南区）、ローソン（広島市中区他 2 店舗）、ポプラ（広島市中区他 1 店舗）、イオン広島府中店（安芸郡府中町）、TAU（東京都中央区）

②創作品、商品の展示紹介活動の推進

参加事業所で実行委員会を組織し、フェアの企画、運営に携わっていただくことで継続したフェアの開催と製品の質の向上を目指すとともに、県民への幅広いPRに努めた。

フェア名	開催日	開催地	参加事業所数
セルプフェア 2018	11月29日(木)～ 12月11日(火)	ひろしま夢ぷらざ (広島市中区)	28事業所 (内会員23事業所)
ひろしま S-1 サミット 2018 (広島県受託事業)	①県予選 9月28日(金) ②本選 11月23日(祝)	① 広島県庁 ② MAZDA Z o o m-Z o o mスタ ジアム広島	①10事業所 ②10事業所

③斡旋紹介活動の推進

I 障害者就労支援事業所売上向上対策事業 (共同受注)

・官公庁からの受注

発注企業等名	内容	売上金額
国の関係機関	草刈り、剪定作業、	1,145,658
県の関係機関	研修時の販売、縫製作業、粗品受注、テープ起こし、	281,190
各市町	広報誌等封入作業、公用車洗車作業など	568,300
合 計		1,995,148

・企業からの受注

内容	売上金額
委託販売	226,905
清掃作業	1,430,000
縫製作業	132,100
ゴム印作製	35,349
封筒印刷	436,914
粗品受注	2,200
封入作業	14,000
草刈り、外周清掃	65,500
内職	490,395
合 計	2,833,363

II ルイボスティ・海水の素共同受注事業支援

III 自動販売機事業共同受注事業支援

IV イベント販売等の斡旋

フェア名	開催日	開催地	参加事業所数
健康サポートフェア	9月15日(土)～16 日(日)	広島グリーンアリーナ	5事業所
たけはらバンブーフエス	3月2日(土)	バンブージョイハイラ ンド(竹原市)	2事業所
おひなまつりマルシェ	2月23日(土)～24 日(日)	三原幼稚園	5事業所

V 商談会への参加

【平成30年度販路開拓支援事業「商談会」】

期 日 : 平成30年11月7日

会 場 : ホテルセンチュリー21広島

主 催 : 広島県商工会連合会

提案商品：保命酒ジェラート（ゆめサポート・バク）、さくほろ甘酒クッキー（ウイング）、くるみ korokoro ラスク（広島どんぐり作業所）

内 容：小規模事業者等の商品開発・販路開拓を支援するため、首都圏並びに広島地区等のバイヤーを誘致した商談会

結 果：「株式会社 福屋」「広島三越」「株式会社 大近」

商品については大いに興味を示してもらえたが、具体的な商談には至らず。

VI情報収集・研修会への協力・参加

市町の自立支援協議会へ参加し、共同受注、情報収集、研修会への協力等を行った。

①安芸高田市自立支援協議会

- ・安芸高田市広報誌他の封入作業（発注元：政策企画課、秘書広報課）
- ・安芸高田市の公用車洗車作業（発注元：社会福祉課）
- ・就労支援研修会の共同企画研修

日程：12月14日（金）11時～15時30分

講師：城 貴志 氏（NPO 法人滋賀県社会就労事業振興センター 常任理事兼センター長）

場所：安芸高田市民文化センタークリスタルアージュ

内容：滋賀県での共同受注窓口の取り組みを知り、安芸高田市で取り組めることを検討する。

②庄原市自立支援協議会

日程：12月7日（金）18時～20時

講師：島根県障がい者就労振興センター 安部 義明 氏
ぼんぼん船 柳楽 好美 氏

場所：庄原市ふれあいセンター

内容：島根県の農福連携と工賃向上の取り組み、振興センターと事業所との連携事例について学ぶ。

③三原市自立支援協議会

日程：12月20日（木）16時～17時30分

場所：サンシープラザ

内容：三原市の自立支援協議会 就労支援部会に共同受注窓口の周知を行う。

（4）研修会の開催

①事業所スキルアップ事業（広島県委託事業）

I 工賃底上げ研修会

日時・場所	テーマ	プログラム
第1回 8月31日(金) 10時～17時 広島県社会福祉会館	【基礎講座】 工賃向上に 必要な視点と知識	工賃向上に必要な視点、リーダーの 役割、管理会計の基礎、自事業所分 析、工賃支払規程 など
第2回 10月5日(金) 10時～17時 広島県社会福祉会館	【実践演習】 シナリオ策定& 工賃向上計画策定	シナリオ策定、工賃向上計画作成、 個別支援計画作成、行動計画作成 など
第3回 1月25日(金) 13時～17時 広島市南区地域福祉センター	【実践演習】 成果報告会	成果報告会

講 師 株式会社インサイト 関原 深 氏

参加者 20 事業所

内 容 「工賃向上計画の（再）策定」「行動計画の策定」を中心題材とし、その事業・支援企画策定に必要となる意義の確認や知識・技術を習得した上で、企画を練り直し、実現可能な行動計画を作る。

②工賃向上公開講座

共催：広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会

日時・場所	内容	テーマ・講師
5月14(月) 13時～17時 広島市総合福祉センター 参加者：35名	工賃向上計画策定のポイント	工賃向上計画策定プロセスについて
11月2日(火) 10時～12時 広島県健康福祉センター 参加者32名	【事例研究】 先進事例紹介 全国事例	「1人ひとりの力を引き出し、工賃10万円へのチャレンジ!!」 講師：社会福祉法人武蔵野千川福祉会 チャレンジャー 施設長 新堂 薫氏
11月2日(火) 13時～16時 広島県健康福祉センター 参加者2事業所	個別面談	講師：株式会社インサイト 関原 深氏、北野 喬士氏

4 障害のある人に対する就業・生活支援に係る事業

(1) 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター事業を実施した。

①就業支援登録：34名（累計1,180名）の就労希望者の登録

②就業における実績：36の職場実習を実施し、63名の就労実績

障害別・登録者 件数 (2019年3月31日現在)

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計(人)
151	644	346	39	1,180

・2018年度登録者内訳

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計(人)
7	16	11	0	34

○就業実績 件数 (平成30年3月31日現在)

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計(人)
80	338	179	23	620

・2018年度就業実績 件数 (目標値 65)

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計(人)
8	38	17	0	63

○職場実習あっせん件数 (平成30年3月31日現在)

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計(人)
94	478	221	31	824

・2018年度職場実習あっせん 件数 (目標値 95)

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計(人)
5	13	18	0	36

○就業定着率 (2018年度就業者、就業1年後の定着率)

2018年度就業者

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計(人)
12	32	24	0	68

- ・上記のうち就職後1年後時点の在職者数

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計（人）
8	31	20	0	62

- ・就業1年後の定着率

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計（%）
66.7	96.9	83.3	0	86.8

③社会生活スキル学習会

新卒の生徒や初めて就労した人の中には、給料をもらうことで急にお金持ちになった感覚があり、持っているお金を一度に使ってしまい、後々困る人の相談を毎年受けている。給料を適切に計画的に使えるように「お金の使い方」をテーマに学習会を開催した。「金銭管理」の知識や習慣は一朝一夕では身につけることは難しく、繰り返し学習することで効果が出ている。また、在職者同士が集まり一緒に学習することで、横のつながりもでき、就労への意欲にもつながっている。

第1回スキル学習会 日時：6月9日（土）10時～12時、 13時30分～15時30分 場所：ビューポートくれ（呉市）	テーマ：（知的障害者対象）「クイズで学ぼう！社会生活のマナーとルール」 講師：社会保険労務士 畝田谷 栄子氏 参加者 43名
第2回スキル学習会 日時：8月25日（土）10時～12時、 13時30分～15時30分 場所：ビューポートくれ（呉市）	テーマ：（知的障害者対象）「やってみよう！社会生活のマナーとルール」 参加者 19名 （精神障害者対象）「お金の達人になろう。パート3」 参加者：12名 講師：ファイナンシャルプランナー 君崎 滋氏
第3回スキル学習会 日時：10月20日（土）10時～12時、 13時30分～15時30分 場所：ビューポートくれ（呉市）	テーマ：（知的障害者対象）「考えよう！お金の大切さ講座」 参加者：20名 （精神障害者対象）「家計管理研修プログラム」 参加者：21名 講師：ライフマネー研究会代表・ファイナンシャルプランナー 島貫 正人氏 ライフマネー研究会主任講師 鈴木 佳江氏
第4回スキル学習会 日時：2月16日（土）10時～12時、 13時30分～15時30分 場所：ビューポートくれ（呉市）	テーマ：（知的障害者対象）「社会人として身につけたい だいじなお金の使い方」 参加者：21名 （精神障害者対象）「親と子のライフプランについて考える」 参加者：41名 講師：暮らしとお金のPro-Lab 代表 尾関 さゆり氏 暮らしとお金のPro-Lab 講師 中部 絵美氏

④障害者雇用関係機関連絡会

雇用関係機関連絡会を8月と1月に2回開催した。そのうち企業の人事担当者・現場担当者のみで情報交換をする「障害者雇用企業交流会」を1回開催した。企業交流会では、業界・業種をこえて障害者雇用の中で共通する課題について情報交換が活発に行われた。業種が違っていても障害者雇用のうで抱える課題は共通していることが多く、人事担当者への支援が重要だと

感じた。来年度も継続して企画し、各企業が抱えている課題や今後の受け入れに対する希望を聞き、当センターとしても対応・対策を検討していきたい。

発達障害を持つ学生の相談が増加していることから、大学・短大・専門学校の進路相談室を対象に「発達障害をもつ学生の就労・生活支援セミナー」を開催した。多くの先生方が「発達障害」の学生に対して、障害者枠での就労の実態を理解しておられず、どのように指導していけばいいのか、悩んでいることがわかった。来年度も「発達障害をもつ学生の就労・生活支援セミナー」を開催し、卒業後すぐに就労できるよう学校の進路担当と連携していく。

<p>第1回障害者雇用企業交流会 第1回障害者雇用関係機関連絡会 日時：8月31日(金)13時30分～16時30分 場所：呉市商工会議所会議室</p>	<p>参加者 6社6名 参加者 52名 講演・研修会『障害者の雇用事例の発表』 講師：税理士法人 古田土会計 部長 十河 寿寛氏</p>
<p>第2回障害者雇用企業交流会 日時：1月28日(月) 13時30分～16時30分 場所：ビューポートくれ</p>	<p>参加者 41名 講演・研修会『障害者の雇用事例の発表』 講師：株式会社ジーフット 人材開発部 岡田 道一氏</p>
<p>精神障害者の雇用促進と理解を深めるバス見学 日時：9月28日(金)9時～17時</p>	<p>参加者 9名 参加機関：障害者を雇用している、予定している企業 見学先：パナソニック吉備株式会社（岡山県）、就労支援A型事業所 岡山ハーモニー（岡山県）</p>
<p>発達障害をもつ学生の就労・生活支援セミナー 日時：8月3日(金) 13時30分～17時 場所：TKPガーデンシティ広島駅前</p>	<p>参加機関：大学・短大・専門学校就職担当者 15校24名 ハローワーク・障害者職業センター 2名 障害者就業・生活支援センター（県内7か所）12名 講師：明星大学ユニバーサルデザインセンター 工藤 陽介氏</p>

⑤ 自立支援協議会等への出席

求人開拓やジョブマッチングに対して、ハローワークや障害者職業センター、就労移行支援事業所とも順調に連携がとることができた。発達障害者に対しては、特性の理解を深めるため、病院へ受診同行し、医療機関と就労する上での課題の意見交換を行った。

呉市、江田島市ともに自立支援協議会就労支援部会に参加し、障害者雇用をすすめていく上での課題について発言や行事等の案内をした。

- ・ 呉市自立支援協議会 5回出席（全6回開催）
- ・ 江田島市自立支援協議会会議 4回出席（全4回開催）
- ・ 発達障害者雇用支援連絡協議会 2回出席（全2回開催）

5 障害のある人の権利擁護に関する事業

研修会を通じて障害のある人の人権擁護に関する普及啓発を行った。

6 関係行政機関、団体等との連携に関する事業

(1) 全国社会就労センター協議会にアンケート・要望事項の提出

①共同受注窓口体制に関するアンケートへの協力

②全国社会就労センター協議会関連会議、研修会への参加

I 第1回協議員総会 5月15日(火) 東京都 全社協灘尾ホール

・議題

平成29年度事業報告(案)について

平成29年度決算について

II 第2回協議員総会 2月28日(木) 東京都 全国社会福祉協議会

・議題

平成30年度補正予算(案)について

平成31年度事業計画(案)について

平成31年度予算(案)について

III 平成30年度 全国社会就労センター長研修会 2月27日～28日

(内容)

・基調報告 阿由葉 寛氏(全国社会就労センター協議会 会長)

「障害者就労支援の現状・課題とセルプの対応」

・表彰式 全国社会就労センター協議会協力企業・団体官公庁等感謝

・行政説明 源原 真規子氏(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長)

「障害福祉施策の動向について」

・パネルディスカッション

「平成30年度報酬改定影響調査の結果速報と各事業所の現状」

・事業報告 寺口 能弘氏(セルプ協 工賃向上・受注拡大実現特別委員会 委員長)

「工賃向上・受注拡大実現特別委員会の取り組み」

・リレーレポート

田中江美氏(サンアクア TOTO 株式会社 代表取締役社長)

藤沢利枝氏(社会福祉法人ユーアイ村 理事長)

平井夏樹氏(株式会社ユーアイデザイン 代表取締役)

内藤 晃氏(進行役 セルプ協 調査・研究・研修委員長)

「障害者が働くために必要な合理的配慮とは」

・講義 河内崇典氏(一般社団法人FACE to FUKUSHI 共同代表)

「福祉業会における求職者の傾向と人材確保のヒント」

IV 総務・財政・広報委員会

第1回 6月5日(火) 東京都 商工会館

・議題

平成30年度総務・財政・広報委員会の所管事業について

永年勤続表彰 審議について

顧問の任期について

(2) 中国・四国社会就労センター協議会

I 役員会

4月12日(木)岡山市
平成29年度事業報告及び決算報告について
平成30年度補正予算について
平成31年度事業計画及び収支予算について

II 中国・四国社会就労センター協議会施設長研修会

9月27日(木)28日(金)徳島市

- ・基調講演 阿由葉 寛氏(全国就労就労センター協議会 会長)
「障害者就労支援の現状・課題とセルプの対応」
- ・講演 加渡いづみ氏(四国大学 短期大学部ビジネス・コミュニケーション科 教授 とくしまエシカル消費推進会議 会長)
「はじめましてエシカル消費」
- ・事例発表 梶原 ひろみ氏(株式会社 共立 代表)
特定非営利活動法人とくしま障害者授産支援協議会
「徳島からの発信!工賃向上計画、ブランド推進あわわの取り組み」
- ・講演 伊勢 貞雄氏(株式会社ニューバリュークリエーション代表)
「工賃向上計画検討にかかる研修会~意識改革と企業的手法について」
- ・グループ討議
「工賃向上に向けたボトルネックとその解消策について」
アドバイザー:
株式会社ニューバリュークリエーション代表 伊勢 貞雄氏
株式会社 共立 代表 梶原 ひろみ氏
- ・中国・四国社会就労センター協議会職員研修会

11月19日(月)20日(火)岡山市

(3) 障害者の就労に関する各団体及び理解と支援を示す各団体との連携

厚生労働省広島労働局、広島県障害者支援課、広島市障害自立支援課、広島県雇用人材確保課、広島障害者職業センター、広島障害者職業能力開発校、各障害者就業・生活支援センター、ハローワーク呉、ハローワーク広島、ハローワーク広島東、ハローワーク可部、ハローワーク廿日市、呉特別支援学校、広島北特別支援学校、広島特別支援学校、廿日市特別支援学校、黒瀬特別支援学校、広島市立広島特別支援学校、広島県共同募金会 広島県社会福祉協議会、ひろしまNPOセンター、千羽鶴未来プロジェクト等

7 障害福祉サービス事業所の運営

(1) 就労移行支援事業 ※4月末日で事業廃止

就労継続支援B型事業 利用者数:26名(3月末現在)、年間就職者数2名

①訓練内容

就労移行支援事業を廃止したため、これまで2階の工房で働いていた利用者が1階の喫茶で働く事の選択ができるようになった。作業内容や人間関係等、2階では力が発揮できなかった利用者が1階では生き生きと作業に関わることができるようになった。

2階では、繁忙期に例年を上回る注文を受けたが、納期を守って納品できた。同じ作業を

繰り返しやっていくうちに作業ペースが上がり、またどれくらい注文が入ったかについて朝礼・終礼や掲示板を使って利用者に周知したことで利用者のモチベーションアップにつながったと考えられる。今後は作業工程計画表を作成し、工程管理をすることで納期を皆で意識して取り組む。さらに、新商品が増えていることもあり、利用者の作業に偏りが生じないように、携わることが難しい利用者が少量ずつでも作業に取り組めるように練習できる環境作りを進めていくことが必要である。そのためには、カルテを作成、利用者個々の作業状況を把握し、特性を活かした作業や環境設定を行っていく必要がある。

②職場体験（実習）：ふれ愛プラザでの実習（月1回程度）／企業等での実習支援

③就職のための活動支援

- ・就職前準備：書類作成・面接指導（随時）／企業等見学・実習
- ・求職活動：ハローワーク同行（随時）／障害者合同面接会参加（年1回）
- ・面接同行
- ・雇用前実習の同行支援

④折り鶴ポストカード事業

内 容 広島市の優先調達推進法を活用したポストカードの発注を広島市内近郊で千羽鶴の解体を行っている事業所（33事業所）で共同で受注した。

実 績

（単位：万枚）

納入月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	12月	2月	計
納入数量	30	15	15	30	20	20	20	20	170

⑤その他活動

- ・ボランティア活動：爆心地の清掃と千羽鶴回収（週1回）、とうろう流し実行委員会への参加（8月6日）
- ・掃除強化デイの設定：掃除強化日を設定（週1日）

(2) その他

①職員会議（年3回）、職員ミーティング（月1回）

個々の利用者の支援内容や個別支援計画の内容について協議、行事や事業所運営に関する検討等

②関係機関との連携・研修会への参加

- ・工賃向上計画策定研修、ジョブコーチカンファレンス 2018 等職員のスキルアップを図るための研修に積極的に参加した。

8 その他公益目的達成に必要な事業

(1) 総会、理事会の開催

①総会

- ・第1回

【日時・場所】 6月20日（火）13時30分～17時 広島県社会福祉会館 会議室4・5

【議案】2018年度事業報告（案）、決算報告（案）、会員の入退会、役員変更等

【研修会】「制度改正の概要と今後のセルフ協が目指すもの」

講師 全国社会就労センター協議会 副会長 叶 義文 氏

②理事会

・第1回

【日時・場所】 5月29日（火）14時～16時 広島県社会福祉会館 会議室8

【議案】平成29年度事業報告（案）、決算報告（案）、会員の入退会、役員の改選等

・第2回

【日時・場所】 6月20日（水）15時20分～15時30分 広島県社会福祉会館 会議室4

【議案】役員就任、代表理事の選任等

・第3回

【日時・場所】 1月16日（水）15時～17時 料亭久里川

【議案】2018年度上半期事業報告、ふれ愛プラザの運営について等

・第4回

【日時・場所】 3月12日（火）10時～12時 広島県社会福祉会館 会議室3

【議案】2018年度補正予算（案）、2019年度事業計画（案）、予算（案）、会員の入退会について、就業規則の変更案等

(2) 正会員及び賛助会員の拡大を推進し、組織の強化を図る。

①正会員

入会事業所：ジョイジョイワークすばる

退会事業所：元気工房やる気まんまん、松賀苑

(3) 財務基盤の確立

・塩、ルイボスティ、スティックシュガー、缶飲料等の販売促進の取り組みを行った。